

# 「少年問題」の「いま」がわかる！

メールマガジン「少年問題」（毎月10日頃発行、無料です！）購読のおさそい

■ 市民、裁判官、弁護士、法務教官、被害者……さまざまな立場を超えて語り合う団体、「少年問題ネットワーク」

私たちは、少年問題に関心をもつ市民が、インターネットでゆるやかにつながっている団体です。メンバーは一般市民や裁判官、弁護士、家裁調査官、法務教官など「少年司法」の担い手、児童福祉施設職員などの「児童福祉」の担い手や医師、そして被害経験者など、立場を超えたさまざまな人たちが、インターネット上で「少年司法」「少年法改正」「少年の更生」「被害者・被害者家族の被害の回復」など、少年をめぐる最新の問題について議論しています。

■ 少年問題の「いま」がわかる！メールマガジン「少年問題」

メールマガジン「少年問題」は、私たちの議論や少年司法の基礎知識など、を、広く一般の方々にお伝えするために発行しております。家庭裁判所、少年院からの「現場の声」や最新の少年事件を実務家や研究者が解説するニュース解説など、「少年問題のいま」が詰まっています！

編集長は、マンガ『家裁の人』の原作者、毛利甚八です。

■ 購読申し込みはメールで

お名前、住所、所属（職業）を明記のうえ、メールで事務局（araki@rikkyo.ne.jp）まで購読をお申し込みください（「少年問題ネットワーク」のホームページ〔<http://www.rikkyo.ne.jp/univ/araki/jvnet-hp/>〕もごらんください）。あとは毎月10日頃、メルマガが届きます。

■ 内容のご紹介（2005年9月号）

★ 「巻頭エッセイ&コラム」

「女子少年院の窓から」

魚住絹代（元法務教官）

「付添人日記」

桑原奈緒（弁護士・京都弁護士会）

★ 「少年裁判官の雑記帳」 ---- 薬物依存者の自助グループ ----

井垣康弘（元家裁判事）

★ 5 「少年司法・身びいき書評」

『事例から学ぶ少年非行 真の少年非行対策をめざして』

高松少年非行研究会著（現代人文社）

評者 市来竜也（家裁調査官）